

やっと会えた微生物 クマムシ

大宮小学校

5年

寺西

真和士

1. 動機（きっかけ）

去年の自由研究で、微生物について調べたときに、ギンゴケにクマムシがいると知った。クマムシにあこがれた。今年は、何としても見つけて観察したいと思った。また、他のコケにも何か微生物がいるかと思ったのでコケを集めて観察してみることにした。

2. 方法（調べ方）



○家の近くの道、公園でコケを探す。

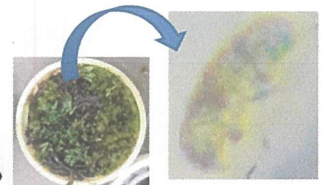
○水をかける（水をかけるとクマムシが動き出すらしいから）。

○コケの中の水をスポイトですって、その水をスライドガラスにのせて顕微鏡で観察する（100倍、400倍、1200倍の倍率で）。

○クマムシの様子を観察して記録する（写真、動画、絵）。

3. 結果

8/7ギンゴケの中からクマムシを発見した。



4. わかったこと

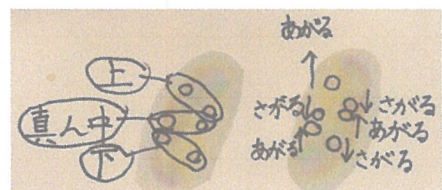
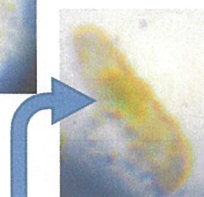
（クマムシの様子）



・コケを食べていた。

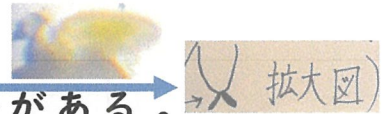
コケを食べた方はおなかが緑になった。

・よく動く6本の足がある。

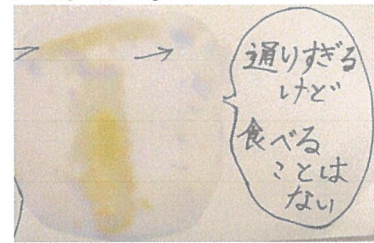


上と下の足が同じように動いて、
真ん中の足は反対の足を上げていた。

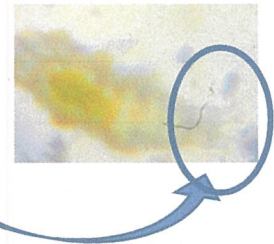
動きは速い。足の先にはつめのようなものがある。



・同じギンゴケの中に、のびちぢみする
微生物がいた。近くを通ってもクマムシは
食べなかった。



・動画を見返していると、クマムシのおしりと
思っていたところから、足が2本出ているとき
があることに気づいた。ほかの足とちがい
出して、丸めて、出してと動く。



ほかの6本の足とちがってほとんど動かない。

・観察してわかった
クマムシの足



5. 今後の課題

クマムシの8本の足のうち、6本は動くために使っているとわかったが、おしりの方の2本の足は何のために使っているのかわからなかったから、知りたい。イルカの尾ひれの動きに似ているような、アザラシの足ひれの位置によく似たところについているような気がした。